

# モニタリング結果報告書 (令和4年度)

## 1. 施設概要

施設名	境川遊水地公園		
所在地	横浜市戸塚区俣野町・泉区下飯田町・藤沢市今田		
サイトURL	http://kanagawa-park.or.jp/sakaigawa/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成19年8月)		
指定管理者名	神奈川県公園協会・サカタのタネグリーンサービスグループ		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (藤沢土木事務所)

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p> <p>〈評価の理由〉                      新型コロナウイルスの影響禍であったが、全体の利用者数は目標値を上回り、利用状況はA評価であった。利用者の満足度は、適切な維持管理を行ったこと等により、S評価であった。また、収支差額は、原油価格等の高騰により光熱費の支出が増大したが、天候に恵まれたことにより清掃管理等に係る支出が節減され、収支状況はA評価となり、3項目評価もA評価となった。このことから新型コロナや原油価格の高騰が3項目評価に与えた影響は最小限のものであったと思慮される。</p> <p>〈今後の対応〉                      新型コロナウイルスの感染症法による分類が5類に移行されたことから、コロナ禍以前と同様の公園運営に回帰していくことが想定されるので、今後も遊水地機能の保全を基本としつつ、更なる利用拡大に努めることを期待する。</p>
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況                      提案に基づいて、自然環境の保全活用、スポーツや地域交流のイベントを開催し実績をあげた。また、遊水地として一時的に水没した施設の清掃・維持管理を迅速に行い、早期の利用再開に努めた。</p> <p>◆利用状況                      利用者数が目標達成率104.9%となりA評価となった。また、有料施設については利用制限を行わなかったこともあり、利用者数は昨年度から14%のプラスとなっている。</p> <p>◆利用者の満足度                      9月と3月にアンケート調査を実施し、上位2段階の回答割合が95.5%となったためS評価となった。幅広い世代の利用者に回答してもらえるよう、利用者へ直接アンケートの協力を依頼することにより回答率は99%となった。</p> <p>◆収支状況                      原油価格高騰に伴い電気代等が高騰し、昨年度よりも支出が増したが、収支比率は101.5%となりA評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等                      寄せられた苦情・要望に対しては誠実に対応した。</p> <p>◆事故・不祥事等                      利用者が車と接触する事故が発生したが、速やかに県と協議し再発防止のための対策を講じることにより、利用者の安全確保を図った。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況                      県による監査及び労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他                      なお、令和4年度の3項目評価についてはA評価となった。</p>

## 3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	A	S	A	S: 極めて良好 A: 良好 B: 一部改善が必要 C: 抜本的な改善が必要

#### 4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	月1回程度	現地を調査し、指定管理業務が適切に履行されていることを確認している。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	四半期に1回程度	県と指定管理者で打合せを行い、運営管理上の問題点等について情報共有を図った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ <b>無</b>	指導・改善勧告等の内容

#### 5. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<b>蓄積されたノウハウを活かした遊水地機能の確保と早期復旧</b> ○開園時から積み上げてきた管理経験に基づく遊水地機能の確保 ○越流後の公園利用の早期復旧 ○遊水地の役割・機能に関する普及啓発	・河川行政経験者の配置による水防体制の確保を実施した。 ・越流により堆積した土砂等の迅速な除去による公園利用の早期復旧を実施した。 ・遊水地機能の普及啓発や利用者の防災意識向上を目的としたイベントを実施した。	提案内容のとおり適切に実施されている。 コロナや天候等の影響により開催できなかったイベントもあったが、引き続き、各種イベントの開催による利用促進に努めてもらいたい。
<b>ビオトープの自然を調べて守って魅力を分かち合う</b> ○水辺の自然豊かなビオトープの適正な保全 ○環境学習の場の提供やビオトープ調査の人材育成	・自然環境調査に基づいた長期的視点による管理計画の見直しを実施した。 ・NPO等との協力による生物調査や外来種駆除等のビオトープ管理を実施した。 ・地域の教育機関と連携し環境学習フィールドとして利用を促進した。	提案内容のとおり適切に実施されている。 コロナや天候等の影響により開催できなかったイベントもあったが、引き続き、利用者や環境等に配慮した管理運営に取り組んでもらいたい。
<b>エリアに応じたスポーツ利用の促進で未病改善をサポート</b> ○多様な世代が楽しめる健康づくり、スポーツメニューの充実	・グラウンドゴルフ教室やパークヨガ等の健康づくりやレクリエーション型スポーツメニューを提供した。 ・インクルーシブスポーツの出張体験会を実施した。	提案内容のとおり適切に実施されている。 コロナや天候等の影響により開催できなかったイベントもあったが、引き続き、各種イベントの開催による利用促進に努めてもらいたい。
<b>地域交流の拠点として充実したサービスやプログラムを提供</b> ○公園を通じた新旧住民の交流促進	・地元農家及び社会福祉法人等によるマルシェを開催した。 ・ビオトープを巡る野鳥観察ツアーを実施した。	提案内容のとおり適切に実施されている。 引き続き、新規イベントの開催等による利用促進に努めてもらいたい。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
温水シャワー	4月1日から11月30日の期間で温水シャワーの営業を実施した。
カレンダー事業	公園をPRするため、フォトコンテスト入賞作品を使用した。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

## 6. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特徴から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
A	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	322,062	316,363	314,336
対前年度比		98.2%	99.4%
目標値	284,200	294,000	299,626
目標達成率	113.3%	107.6%	104.9%

目標値の設定根拠： 事業計画書記載目標数値

利用者数の算出方法（対象）： 施設利用者数及び目視の計数より推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

### 【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響  
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況  
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

## 7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 198 / 200 = 99.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	156	33	5	4	0	198	いつもきれいに管理されている。
回答率	78.8%	16.7%	2.5%	2.0%	0.0%		
前年度の回答数	81	22	6	1	0	110	
前年度回答率	73.6%	20.0%	5.5%	0.9%	0.0%		
回答率の対前年度比	107.0%	83.3%	46.3%	222.2%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

### 【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響  
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況  
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

## 8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	138,413	0	1,377	自販機1,377	139,790	139,790	0	
	決算	138,413	0	4,635	自販機3,508 雇用調整助成金 1,127	143,048	138,160	4,888	103.54%
前年度	当初予算	138,460	0	1,377	自販機1,377	139,837	139,837	0	
	決算	138,460	0	2,961	自販機2,961	141,421	131,769	9,652	107.32%
令和4年度	当初予算	132,900	0	2,245	自販機2,245	135,145	135,145	0	
	決算	132,900	0	2,965	自販機2,965	135,865	133,833	2,032	101.52%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 /                      前年度 /                      前々年度 /

<備考>

**【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】**  
 (※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響  
 原油価格高騰の影響については「2.総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況  
 原油価格高騰の影響については「2.総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
	口頭	1 件		
施設・設備		1 件	俣野遊水地トイレ棟脇の階段において、一段おきにデザインが違うため踏面を認識しづらい。	踏面の端部にテープ（オレンジ色）を貼り、踏面を認識しやすくした。
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R5. 10. 16	①10月16日（日）16時頃 下飯田遊水地トイレ脇の階段を下り園内道路を横断しようとした子供が車両の有無を確認せずに道路に飛出し、通行していた車両の左側ドアミラーと接触し顔を負傷した。（車両の速度は不明、負傷者は意識はあるが打撲及び口内を切創していたため、救急車で病院へ搬送した） ②10月17日（月）に指定管理者から事故の報告を受け、10月18日（火）に藤沢土木事務所の職員が現地を確認した。 ③園内道路への飛出しを防止対策としてサインキューブを設置した。 事故当時、駐車車両によりドライバーが横断者を視認しづらい状況であったことから、階段下の3台分の駐車場をラバーボールの設置により空きスペースとすることにより横断者の視認性向上を図った。 ④無 ⑤無 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。